

中に校舎の室温を測定すると上の階の方が暖かくなっていること、校庭においてはグラウンドが乾いた晴れの日には日射を受けている建物の前に高温域が生じることが明らかになった。

しかし今回の観測結果では、高温域あるいは低温域と一般風との関係は見いだせなかった。今後は、地上付近の風は局地性が強く、建物が立ち並ぶところでは非常に複雑であるので(榊原, 1982), 気象台及びそれに準じるところの風のデータをその地区の一般風として、それと校庭における実測風との関係を調べる必要がある。また、室内の場合には上の階の高温化のメカニズム及び休み時間の室温ジャンプの原因など解決すべき課題がある。さらに、今回は校内の気温分布を調べたが、測器の性能から考えて湿度を調べることも可能であり、校内の湿度分布における共通法則も見いだしたい。

本研究を進めるにあたり、貴重なコメントをいただいた目黒区立第八中学校長伊藤久雄先生に感謝の意を表し

ます。なお、本稿は日本気象学会1987年春季大会において討議されたものに加筆・修正したものである。

文 献

- 伊藤久雄, 1979: 小・中・高等学校理科における気象学習の扱い, 天気, 26, 235~242.
 ———, 1985: 手づくり簡易通風乾湿計の作り方と局地気象の調べ方, 地学教材の研究, 東洋館出版社, 64~65.
 ———, 1986: 学校教育の中での気象の扱い, 気象研究ノート, 153, 4~26.
 川西 博, 1981: 学校理科教育における気象領域の開発, 天気, 28, 43~44.
 榊原保志, 1981: 中学校気象教育における野外観測指導の事例, 都立教育研究所長期自主研修会発表資料.
 榊原保志, 1982: 草加松原団地の気候環境, 日本気象学会春季大会予稿集, 41, 85.

日本気象学会誌 気象集誌

第 II 輯 第 65 卷 第 5 号 1987 年 10 月

斎藤 定・田中 浩: 前線付近に発生する帯状降雨域の形成メカニズムとしての条件付対称傾圧不安定の数値実験: 第 I 部 基本的実験

Harald Lejenäs・Bo R. Döös: プロッキング期間中の停滞性および移動性プラネタリー波の振舞い

Xue-Ling Wang・村上多喜雄: 南半球の夏における季節内変動的な南北方向の吹き出しと赤道域での積雲対流

加藤内蔵進: 初夏のモンゴル・華北一帯の乾燥地帯における気団変質と大陸の梅雨前線の構造急変

甲斐憲次: 日本における地表風のスペクトル気候学

第 II 部 日変化, シノプティックスケールの変動, 10~20日周期の変動および年変化

花輪公雄: 日本南方海域における大気海洋間の熱と運動量フラックスの精度

高橋 勲: 雷雲モデルでの放電源の決定

近藤 豊・小島 浩・鳥山哲司・森田恭弘・高木増美・W.A. Matthews: 航空機観測のための化学蛍光法オゾン測定器

村上正隆・松尾敬世・中山 嵩・田中豊顕: 雲粒子ビデオゾンデの開発

要報と質疑

山中大学: 盛夏季南日本付近で観測された上部対流圏の風の約1週間サイクル: 速報